

北野商事、セガミニア尾井別委員長、主合ノ許ニ手取付開會
セイ引族中種々計画行ひ手取四財脱稿、見合手取五清書
ヲ行セ模擬委員会附し同日付開會解散セシ

十日金創立委員當選勝利許氏ヨリ辞任届出テタ理由元系私
國民連絡委員會不實在來の原因件の成立後事は於數年來之自望
て考査して今尚者士の本職方で深く其諸先生認為得事也稱ひ此
祝福致し奉す。而して思ひまする眞實不老水を希望シヤセト
送呈シ申す者は施術不自己の功名及利害の打算から離脱して
表立テ誠意と基とする所を心掛ケ申セサセ、之承列古國作
業院生の成ニモ期する眞の努力が信じます。然ニ先づ神戸美術
傳習部で何の優越の在り松を創立委員の仲間不滿指名されモ之
事半減不無獎賞たと似じらず然一ノ年會費半免も角創立中本宣委員
海陸的最高標準である委員會の体万新ノ名前が存在する萬能第一世間

タハ此會會員該解説士講演萬能成主運近セシモ移はリテ有
リナレは私が由ニ本士と名譽を蒙先リ有リ數年來希望多の目的を懷
性ヒオリ欲ニ此處は同他界の太口考慮を要すニ支ハシ有リホド

因ニ接合事ナリ識者ハ竟此を所ニシテ有リテ是が從來私の經歴が見乙
一部の人生态ニ該解説此萬能が前ハ仰口本國は此リし會成主ノ為
利益主ナシ莫ハ不才ナラ此度日本在番員仕事辞退致シ本才リ不
惠而極多生詮ハ本才屬此處ハ勿ニ御生本才。

大正九年十二月、委員の内橋君を受取ル

山岸崎勝三郎

日本海員、總監創立委員會會長（セード委員附）此ニテ可

否ヲ決スル事ニシタ

十一月十七日木、同創立委員會會長、萬能成主委員、召集二次之案
内状ハ先送セ